

# 新ふくいの森林・林業基本計画(仮称) 骨子(案)の概要

## 【基本理念】

育てる林業から、儲ける林業・稼げる林業に

## 【目指すべき森林・林業の姿】

県内の私有林を2つにゾーニングし、それぞれに応じた森林整備を推進する [参考資料1]

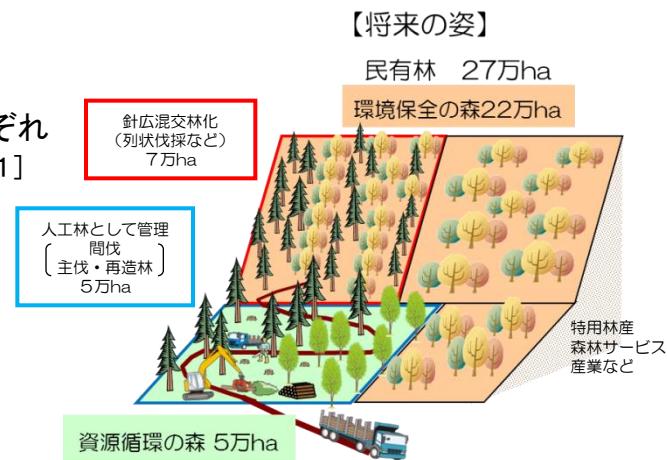
- ①資源循環の森:木材の持続的な生産
- ②環境保全の森:森林の多面的機能の発揮

## 【数値目標】

県産材生産量 (H30) 19万<sup>3</sup>m<sup>3</sup> → (R6) 25万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

## 【計画期間】

令和2年度から令和6年度まで(5年間)



## 1 森を活かすプロジェクト ～充実しつつある森林資源の積極的な利用～

山ぎわ間伐に加えて主伐も進め、需要側の求めに対応する県産材の安定供給体制を整備し、供給を拡大する。

(H30) (R6)  
間伐材積 12.4万<sup>3</sup>m<sup>3</sup> → 16万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>      主伐材積 6.6万<sup>3</sup>m<sup>3</sup> → 9万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

- ① 間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進
  - 主伐(更新伐、皆伐)による森林資源の活用と再造林による森林の若返りを促進
  - 市町が主体となった間伐を推進
  - 列状間伐を拡大
  - 苗木供給体制を整備
  - 低コスト造林、育林方法の確立・推進 [参考資料2]
- ② 新たな手法の導入による施業集約化の促進
  - 集落ぐるみで取り組むコミュニティ林業を拡大
  - 森林所有の集約化を推進 [参考資料3]
- ③ 生産基盤の整備
  - ICT技術の活用による森林情報の高度化
  - 高性能林業機械の導入等を促進
  - 木材供給拡大のための路網(林道・作業道)を計画的に整備
- ④ 森林経営・管理を担う人材を育成
  - 競争力のある林業事業体を育成(経営力強化、低コスト技術の習得) [参考資料4]
  - 若者や女性が活躍できる環境を整備(安全装備の充実、就労環境の整備)
  - 即戦力となる人材を育成(林業カレッジの拡充、技術向上研修の充実)
  - 地域に根差した経営意欲の高い林家を育成

## 2 木を活かすプロジェクト ～原木の価値に応じた木材需要の創出・拡大～

木材加工流通体制の整備や福井の技を活かした商品づくりなどで、県産材の価値を高め、需要を拡大する。

(H30) (R6)  
県産材需要量 A:5万<sup>3</sup>m<sup>3</sup> → 6万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>    B:3万<sup>3</sup>m<sup>3</sup> → 8万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>    C:11万<sup>3</sup>m<sup>3</sup> → 11万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

- ① 木材加工流通体制の強化による県産材の利用拡大
  - 大規模工場の整備によるB材需要の拡大
  - 製材工場の水平連携による安定供給
  - 内装材等の付加価値製品の安定供給
- ② 県産材の家づくりの推進
  - 住宅の新築およびリフォームへの県産材利用の推進、建築士等を対象とした研修会の開催
  - プレカット工場と連携したパネル工法での利用の推進
- ③ 公共および民間施設の木造・木質化等の推進
  - 県、市町施設、民間施設の木造・木質化、木製品の導入を推進
  - 中大規模施設等の木造建築設計者の育成
- ④ 攻めの県産材の販路拡大
  - 東京都など都市圏の販路を拡大、アジア圏など海外の販路を開拓
- ⑤ 新たな分野における利用拡大
  - 異業種との協働による県産材商品の開発、炭素繊維との複合化など新たな加工技術の開発
- ⑥ 木質バイオマスの利用
  - 木質バイオマスボイラー導入による熱利用の推進、木質バイオマス発電施設への燃料の安定供給
- ⑦ みんなでつかおう「ふくいの木」運動
  - 木づかいイベントの開催、木材利用意識の醸成、ふくいの木使ってもらい隊による木造・木質化の普及

## 3 森に親しみ、森を守るプロジェクト ～森林の多様な活用と森林保全の推進～

森林の多様な活用を通じて山村地域の活性化を図るとともに、災害等から暮らしを守る森づくりを推進する。

新たな森林サービス産業に取り組む団体 17団体

- ① 森林サービス産業による山村の活性化
  - 森林サービス産業の創出・拡大
  - 里山を活用するふくいSatoyamaトレイルの推進
  - ふくいの森林の魅力を情報発信
- ② 地域資源である特用林産物のブランド力強化
  - 県産ブランドきのこの販売促進(香福茸・極上マイタケ)
  - 地域ならではの品目の振興(ササ、シキミ、クロモジ、椿油、菊炭など)
  - 全国に誇れる特用林産物の生産技術を継承(くず、オウレン、研磨炭など)
- ③ 災害等から暮らしを守る森づくりの推進
  - 事前防災・減災対策による災害に強い森づくりを推進
  - 獣害や病虫害に強い森づくりを推進
- ④ 緑と花の県民運動を永続的に展開
  - 全国植樹祭を契機に展開している緑と花の県民運動を推進
- ⑤ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた観光地周辺等の花いっぱい運動の推進
  - 駅や観光地周辺を中心に県内全域で花いっぱい運動を拡大・強化